

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501038
事業所名	グループホーム あさひ名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域との交流が盛んになり、採れたての野菜のおすそ分けや花の提供があり、新聞記事の「介護特集」を切り抜いて提供してくれる地域住民もいる。自治会の役員会に参加して、ホームの紹介や認知症についての説明をしたこともある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議が、毎偶数月の最終月曜日に開かれている。ホームから運営状況や活動の様子を報告し、参加者から意見をもらっている。ホームでの看取り、ホームイベントの日帰り旅行、自治会の夏祭り等々、その時々のホームの活動について、メンバーが忌憚のない意見を交換している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議に、毎回いきいき支援センター職員の出席があり、ホームの状況を行政に伝えている。民生委員が利用者を対象とした習字教室を開き、新設された地域のコミュニティセンターで作品の発表会を開催した。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	毎週ホームを訪れる家族や、月に1～2度の訪問がある家族等、それぞれの事情によって訪問頻度は違うが、職員はその機会を使って家族の意見や要望を聞き取っている。家族が率先して外出や外食に連れ出しているケースもあり、ホーム運営に協力的な家族が多い。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎			